

こもれびの森 ウッドランドクラブ通信 10, 11月号

宮城県こもれびの森森林科学館 2013年10月25日 (発行者 島貫房雄)

栗原市花山字草木沢角間10-7 Tel/Fax0228-56-2330

<http://mifi.main.jp/komorebi.htm>



なんと241種類のキノコ



両側の背の高い子はジュニアリーダー、小さい子を良く面倒を見ていました(志波姫教育センター)

秋の話題第二弾・・・満載です

●9月29日は「初秋の自然観察会とお茶会」が行われました。園内から摘んだ草花を特製の竹筒に思い思いに飾りました。なかなか風情がありますね。着物姿のお二人の慣れたお点前(裏千家)で皆さんにお茶を振る舞われました。

●今月20日には、築館・志波姫教育センター「少年教育事業」の子どもたちも合流し、「秋の自然観察会」がキノコの森(一桧山県有林)で行われました。雨模様でしたが、皆元気いっぱいです。森の中ではツチアケビを見つけてビックリ、初めて見た方がほとんどで、アケビに似ているから付いた名前に全員が納得。当館専属のHサポーターの自然にまつわる絶妙な解説にはいつも感心します。「キノコがたくさん生えるときがある、それは何か天災的なことがあった時、キノコは子孫を残すため多く発生する」と、・・・なるほど。(キノコ写真展開催中です)

北部地方振興(事)の職員の方も先生になり、キノコの面白いエピソードの紹介や、又キノコに関する問題も出て大変勉強になりました。

お昼には焼き芋やすいとん汁を皆で食べながら交流しました。今回も当館のサポーターの皆さんのご協力で行われました。すいとん汁は最高、とてもいい味!



サツマイモやピザも焼きました



キノコは5,000種類あります。じぇじぇ!



カラフルなマムシグサの実



秋の恵み

しま所長特選「こもれびの森で見つけた実」

右の写真はマムシグサの実とアケビ、ツチアケビの実です。マムシグサの実は薄暗い山の中に光り輝いていて、思わず見とれてしまいました。実の色は変化するように、この実で5色・・・赤、橙、黄、黄緑、緑でした。ツチアケビは、アケビに似た実が土から生えているように見えたので付いた名前とか。今月は秋バージョン10, 11月の合同号、本物のアケビと「アケビモドキ」を紹介できました。

しま所長のコラム

●11月17日に「クズなどを使ってかご編みをしよう」のイベントが行われます。人間国宝級クラフトマン(私が勝手に命名しました)S氏の登場です。写真のかごは同氏の作品ですが、丁寧な作りで丈夫でそれに安いです。わざわざ買いに来館される方もいます。山菜採りの頃は専用のかごが売り切れるほどです。同氏の竹トンボも超人気で、「竹トンボを良く飛ばすには?」の理論も確立しています。私も勉強になります。

●右のアケビ(写真)はボランティアの方が採って来てくださいました。今年は柴田町の里山でもたくさん見かけました。豊作の年なのでしょうか?先日、県民の森職員Kさんとお話する機会があり、「最近の子どもは、アケビに全然興味を示さない」と言うのです。私たちが子どもの頃、山で見つけると大喜びしたものでした。最近では、自然の恵みに感謝することが少なくなりました。「衣食足りて季節の味覚知らず・・・」とでも言うのでしょうか?



真っ赤なツチアケビ



名人のかご作品

・・・これからの「こもれびの森ウッドランドクラブ」のご案内!

●11月3日(日)紅葉の中でノルディックウオーク in こもれびの森

●11月17日(日)クズなどを使ってかご編みをしましょう

※定員30名、参加費500円。10時~13時頃、場所は森林科学館とその周辺。

お問い合わせとお申し込みは当館まで電話かFAXでお願いいたします。



見て覚える